

令和 2 年度 工賃向上計画書（下半期）

事業所（施設）名	ぱれっとワークスれんげ			事業種別	就労継続支援 B			
平均工賃の推移	前々年度（平成 30 年度）実績				前年度（平成 31 年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	10,021	12,112	11,080	月額	10,897	11,845	11,384
	時間額	418	456	438	時間額	441	483	462
今年度平均工賃の 上半期実績と 下半期目標	今年度上半期実績と下半期目標				令和 2 年度以降の目標			
	期	上半期実績	下半期	通期	期	R 3 年	R 4 年	R 5 年
	月額	8,322	9,722	9,029	月額	9,100	9,200	9,300
	時間額	500	467	481	時間額	490	500	510
目標と比較した 上半期の工賃 支給状況	項目		対目標値	目標値からの差異発生の要因				
	支払総額		85 %	新型コロナウイルスの影響による作業減少				
	延べ工賃支払対象者数		112 %	緊急事態宣言解除後に新規通所者増加				
	延べ勤務時間数		75 %	新型コロナウイルスの影響による作業減少				
	平均 工賃	月額	76 %	新型コロナウイルスの影響による作業減少				
時間額		113 %	作業の効率化					
上半期平均工賃目標未達成の要因分析 (目標未達成の場合)	新型コロナウイルスにより、中央ケアプラザの清掃がなくなってしまった。また、内職も中国からの輸送が遅れるなどの影響で、受注数が通常の半分以下であった。逗子駐車場の草刈りも、3密となる車の移動を避けるために、受注しなかった。							
優先的にクリアしなければならない課題の具体的な内容と対応策	内職の受注数が選べるときは多めに受注し、作業の効率化で対応する。 共同受注センターなど、単発の内職も積極的に受注していく。							
上半期に工賃向上に効果上げた具体的な事項								
下半期における、目標達成に向けた対応策	内職の受注数と回転率を上げるために、早めに取引会社に連絡し、間が空かないように努力する。							